





横浜銀行が提供する独自の金融プログラム 「はまぎん おかねの教室」について



公益財団法人消費者教育支援センター主催 消費者教育教材資料表彰2023 内閣府特命担当大臣賞

内閣府・内閣官房の「令和4年度 地方創生に資する 金融機関等の特徴的な取組事例」

地方創生担当大臣表彰 受賞



公益財団法人消費者教育支援センター 主催 消費者教育教材資料表彰2022 優秀當



はまペン

2023年10月現在

横浜銀行の金融教育メニュー

NO.	メニュー	内容	所要時 間 (目安)
1	出張授業①	● 横浜銀行行員が講師となり、動画やワークなどを活用した「おかねの基礎教育(※P4参照)」の授業	50分~1時間
2	出張授業②	● 銀行の仕事やキャリア形成など、横浜銀行行員による職業講話	ご依頼に 応じて実施
3	職場体験	 店舗見学とともに、銀行の仕事やキャリア形成など、横浜銀行行員よる職業講話 「オンライン職場体験(※)」での事前学習のうえ実施 ※東京書籍と協働制作したウェブサイト(https://ashitane.edutown.jp/bankjob/) 	Ⅰ~2時間
4	教員の方々を 対象とした講義	● 「金融教育の必要性」「おかねの基礎教育」等の実践講義 ● 講師は横浜銀行専門部署より派遣 <これまでの実施例> ・県教委主催高等学校家庭科教員向けセミナー(2023年12月実施予定) ・横浜国立大学教職大学院講義(2023年11月予定) ・神奈川県私立中学高等学校協会社会科研修会(2023年2月実施) ほか	ご依頼に 応じて実施

金融教育の定義

金融教育とは、「お金や金融のさまざまな働きを理解し、お金を通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やより良い社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育」(金融広報中央委員会「金融教育プログラム」)と定義されており、すなわち学習指導要領の目標と同じ「生きる力を育む」ことである。

金融教育へのニーズ増加の背景

金融教育が学習指導要領に盛り込まれ、必修化! 2020年度~小学校、2021年度~中学校、2022年度~高等学校

2つの背景

成年年齢の引き下げ (2022年4月~)

人生100年時代にともなう 資産形成の重要性の高まり

【金融教育の必要性】

- 経済社会を生きていくうえで、常に必要となるおかねについて学ぶ金融教育は、生きる力を育むためには必修教育といえる
- さらに、キャッシュレス化の進行にともない、おかねが見えにくくなる中で、おかねに対する考え方や価値観、金銭感覚や道徳観など、生徒への影響も懸念される

横浜銀行の金融教育

【横浜銀行の金融教育の目標と基礎教育】



は、「おかねの基礎教育(※)」のカバー範囲で4分野を網羅

※横浜銀行では、以下の4つを「おかねの基礎教育」と位置づけています。

おかねの価値観

おかねの使い方

おかねを稼ぐ

金銭管理(おこづかいちょうのつけ方)

金融教育は国家戦略に (金融経済教育推進機構が発足予定) 人生100年時代を見据えた 資産形成/投資教育は金融教育のごく一部 育クお なレか クお生 どジね の 基礎 的 む なた 教育を融い 経済変動や経済政策 是産形成/投資教 理 金融トラブル 解 ラ ブ た 投資教 え おかねの 基礎教育

横浜銀行独自の「おかねの基礎教育」の概要 =人格の形成に資する教育 ※下線が当行独自

1.おかねの価値観



- おかね自体に価値はない
- 3つの優れた機能を有する便利な道具
- 経済社会では、生きるため、夢や目標を叶えるために必要な道具
- おかねがたくさんあるから幸せなわけではない。幸せに生きていくためにおかねがある

2.おかねの使い方



- 3つの分類(消費/投資/浪費)
- 「必要なもの(ニーズ)」と「欲しいもの(ウォンツ)」の尺度で<u>自問自答</u>
- <u>エシカル消費や寄付など</u>、<u>地域や社会、環境など他者を考える素敵な使い方</u>

3.おかねを稼ぐ



- 働くとは、自分の頭/体/技術などを使って、価値を 提供すること。その対価がおかね
- 生涯費用はおよそ2~3億円。仕事選びは収入を考えることも大切
- 「好きなこと」「得意なこと」「社会から必要とされること」「収入が得られること」が重なり合った中心に「ikigai(生きがい)」がある

4.金銭管理

(おこづかいちょうのつけ方)





- おこづかいちょうは、こどもたちの将来の健全な 金銭管理能力を養う
- 経済社会を生きていく上では欠かせない
- 資産形成やライフプランニングをおこなう前提
- さらに社会における大切なことを学ぶ
- ・我慢することの大切さ
- ・目標に向かって努力する など

お申し込み・お問い合わせ先

下記お問い合わせ先にてご相談を承ります。

株式会社 横浜銀行 地域戦略統括部 地域戦略・SDGs推進グループ 金融教育担当あて

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1

電話:045-225-1111(代)

メール:brands@hamagin.co.jp



(参考)「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」 ~消費者教育教材資料表彰2023の受賞について~

横浜銀行が運営する「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」が、公益財団法人 消費者教育支援センター主催の「消費者教育教材資料表彰2023」にて「内閣府特命担当大臣賞」(最優秀賞)を受賞しました。



内閣府特命担当大臣賞

はまぎん おかねの教室 ウェブサイト

発行:株式会社横浜銀行

主な対象:小学生、中学生、高校生、大学生

制作年月:2020年12月

<u>教材概要</u>

"おかね"について学ぶアニメーション動画「おかねって何なのだ?」「おかねをすてきに使うのだ」「おかねをすてきに稼ぐのだ」「初めての SDGs」(各 4 ~ 8 分程度)に加え、ワークシートや指導案が掲載されている。Web サイトには、クイズやシミュレーション、実践例など金融教育の基礎について学ぶことができるコンテンツも含まれている。

<評価されたポイント>

選考委員からは、だれでも生活するうえで深いつながりのある「お金」 に特化した内容であり、教材制作の趣旨が明確である。さらに、お金に

ついて学ぶことが自分の生活をよりよくするためであると学ぶ側が前向きに捉えられるように構成されている。 教材や授業例が豊富であると共に「勤労観」を学ぶコンテンツもあることなども評価された。

評価委員からは、動画が 4~8 分と短く授業内で活用しやすいことや指導用スライド、ワークシートがセットになっており、無料でダウンロードできて授業で活用しやすいことが評価された。また、学校の授業だけでなく、一人で、または家族と共に家庭学習で学ぶこともできるという活用例も挙げられた。

(参考) 「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」の特徴



おかねの教室 ウェブサイトの特徴!

- 1 楽しく学べる!ほかにはない!おかねの動画
- ■習うようで習ってこなかったおかねの基礎教育となる動画
- ●4~8分と、おうちや授業でも使いやすい長さ
- ●こどもから大人まで理解できるわかりやすい内容





2

学校の授業や地域のワークショップなどですぐにでも使える教材

- ●ワークシートや指導案などが付いた教材をワンクリックでダウンロード
- ●小・中・高・大学生以上の対象別のページ
- ●学習指導要領に対応した教科マークの表示
- 3

そのほか楽しく学べるコンテンツもたくさん

- ●金融クイズ「おかね検定」(年齢層別 4種類)
- 計算シミュレーション(3種類)
- ●コラボコンテンツ(東京書籍、はまぎん こども宇宙科学館 など)







【2022年度に2つの受賞】

内閣府・内閣官房の「令和4年度 地方創生に資する 金融機関等の特徴的な取組事例」

地方創生担当大臣表彰 受賞



公益財団法人消費者教育支援センター主催 消費者教育教材資料表彰2022 優秀賞



2023年5月、 消費者教育教材の 最優秀賞を受賞



公益財団法人消費者教育支援センター 主催 消費者教育教材資料表彰2023 内閣府特命担当大臣賞

(参考) 「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」の特徴

教材提供について

「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」では、<u>おかねの基礎教育</u>を中心に、 学校の先生方が授業で使用しやすい教材を提供していますので、 ぜひご活用ください。





https://www.boy.co.jp/boy/brand/okane/index.html

また、ウェブサイトで紹介している はまペンのおこづかいちょうの提供をご希望の場合は、 P6のお問い合わせ先までご連絡ください。 無料でお送りしています。

